

2022 年度
慶應義塾大学大学院薬学研究科

入学試験要項 (第二次募集)

◇2022 年 4 月入学者向け



薬学研究科アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

薬科学専攻（前期博士課程（修士課程））

- 新たな生命科学領域に挑戦する意欲を有する学生
- 異分野の知識を積極的に取り込む柔軟性を有する学生
- 科学分野において真理探究の情熱と忍耐力を有する学生
- 他を思いやる心と健全な倫理観を持った学生
- 環境に配慮する心を持った学生

入学者選抜においては、薬学領域および生命科学領域に関する基礎的知識、専門的知識、および英語能力を評価し、人物像等を総合して判定する。

薬科学専攻（後期博士課程）

- 新たな生命科学領域に挑戦する意欲を有する学生
- 異分野の知識を積極的に取り込む柔軟性を有する学生
- 科学分野において真理探究の情熱と忍耐力を有する学生
- 他を思いやる心と健全な倫理観を持った学生
- 環境に配慮する心を持った学生

入学者選抜においては、薬学領域および生命科学領域に関する専門的知識、および英語能力を評価し、発表能力、人物像等を総合して判定する。

薬学専攻博士課程

- 日々進歩し高度化する医療現場にあって、新たな医療に挑戦する意欲を有する学生
- 医師と協力して研究し、新たなエビデンスを創出する意欲を有する学生
- 薬剤師として臨床研究能力、国際性を高める情熱を持った学生
- 医療人として、患者を思いやる心と高い倫理観を持った学生

入学者選抜においては、6年制の薬学部、医学部、歯学部、獣医学部の卒業生を対象として、薬学領域および生命科学領域に関する基礎的知識、専門的知識、および英語能力を評価し、人物像等を総合して判定する。

個人情報の取り扱いについて

慶應義塾では個人情報の取扱いに際して「慶應義塾個人情報保護基本方針」および「慶應義塾個人情報保護規程」を遵守し、適正かつ安全に管理します。

出願および入学手続きにあたってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、慶應義塾大学各部門におきまして、① 入学試験実施（出願処理、試験実施、合格発表）、② 入学手続、③ 学事に関する管理、連絡および手続、④ 学生生活全般に関する管理、連絡および手続、⑤ 大学内の施設・設備利用に関する管理、連絡および手続、⑥ 寄付金、学校債、維持会および慶應カードの募集等に関する連絡、⑦ 本人および保証人宛に送付する各種書類の発送その他の連絡、⑧ 三田会（同窓会）に関する書類送付とこれらに付随する事項を行うために利用します。

上記の業務は、その一部の業務を慶應義塾大学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」といいます。）において行います。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

慶應義塾大学は、個人情報は原則として第三者に開示いたしません。

例外的に、法律上開示すべき義務を負う場合や、学生本人または第三者の生命／身体／財産その他の権利利益などを保護するために必要であると判断できる場合、その他緊急の必要があり個別の承諾を得ることができない場合には、第三者に個人情報を開示することがあります。予めご了承ください。

大規模自然災害（激甚災害）被災地の受験生に対する特別措置について

慶應義塾大学では、大規模自然災害（激甚災害）による被害が生じた場合、被害を受けた受験生の方々に対し、経済的な面で支援を図るため、被災の状況を考慮して、それに応じた特別な措置を講じることがあります。その際の手続の詳細および申請書等は、慶應義塾大学入学センターウェブサイト（学部入学案内サイト）に掲載しますので、ご覧のうえ手続をお取りください。大学院入試における特別措置についても、学部入学案内サイトに掲載します。

URL：<https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/news/>

お電話での問い合わせ先：03-5427-1566（入学センター）

安全保障輸出管理に関して

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和および安全の維持を妨げることが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」等に基づく安全保障輸出管理（国外への貨物・技術の持ち出し・送付等、および国内での外国人等（外国人 研究者・留学生等）への技術提供について、経済産業大臣の事前許可が必要かどうかの事前確認を含む）を行ってまいります。それにより、希望する教育が受けられない場合や、研究ができないまたは希望する教育・研究内容等の変更を求められる場合があります。

必ず出願前に受入希望教員へ相談してください。

※安全保障貿易管理の詳細については、以下の経済産業省のウェブサイトを参照してください。

《経済産業省ウェブサイト》<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/>

受験を目的とした入国手続について

国外出願者には、受験者の必要に応じて「受験許可証」を発行します。受験を目的とするビザ（査証）を取得する際に、この「受験許可証」が必要な場合は、2021年11月25日（木）までに、芝共立キャンパス学生課大学院入試担当へメールで依頼してください。

なお、ビザの申請方法については、居住地を管轄する日本国在外公館のウェブサイトをご確認ください。

2022 年度薬学研究科 入試日程（第二次募集）

◆薬科学専攻 前期博士課程(修士課程)

◆薬科学専攻 後期博士課程

◆薬学専攻 博士課程

	一般・社会人	留学生 (前期博士課程・後期博士課程)
入学時期	2022 年 4 月	
出願登録期間(インターネット)	2021 年 12 月 2 日(木) ～12 月 9 日(木)15:00	2021 年 11 月 19 日(金) ～11 月 25 日(木)15:00
入学検定料支払期間	2021 年 12 月 2 日(木) ～12 月 9 日(木)23:00	2021 年 11 月 19 日(金) ～11 月 25 日(木)23:00
出願書類の郵送期間	2021 年 12 月 2 日(木) ～12 月 9 日(木)消印有効	2021 年 11 月 19 日(金) ～11 月 25 日(木)消印有効
試験日	2022 年 1 月 15 日(土)	
合格発表	2022 年 2 月 2 日(水)15:00	
入学手続期間	2022 年 3 月 1 日(火)～3 月 7 日(月)	

1. 募集人員

課程	入試種別	募集人員
薬科学専攻 前期博士課程 (修士課程)	一般／留学生	若干名
薬科学専攻 後期博士課程	一般／社会人／留学生	若干名
薬学専攻 博士課程	一般／社会人	若干名

※各講座の定員があるので、面談時に指導予定教員へ確認してください。

2. 募集する講座

◆薬科学専攻 前期博士課程(修士課程)

1) 有機薬化学	2) 天然医薬資源学	3) 分子創成化学
4) 衛生化学	5) 生化学	6) 代謝生理化学
7) 薬理学	8) 化学療法学	9) 創薬分析化学
10) 生命機能物理学	11) 薬剤学	12) 薬物治療学
13) 臨床薬物動態学	14) 医薬品情報学	15) 薬効解析学
16) 医薬品開発規制科学	17) 病院薬学	

◆薬科学専攻 後期博士課程 ※兼任講座も、第一志望、第二志望いずれにも志願できます。

1) 天然医薬資源学	2) 分子創成化学	3) 衛生化学
4) 生化学	5) 代謝生理化学	6) 薬理学
7) 化学療法学	8) 創薬分析化学	9) 生命機能物理学

(兼任講座)

1) 薬剤学	2) 薬物治療学	3) 臨床薬物動態学
4) 医薬品情報学	5) 薬効解析学	6) 医薬品開発規制科学
7) 病院薬学		

◆薬学専攻 博士課程 ※兼任講座も、第一志望、第二志望いずれにも志願できます。

1) 薬剤学	2) 薬物治療学	3) 臨床薬物動態学
4) 医薬品情報学	5) 薬効解析学	6) 医薬品開発規制科学
7) 病院薬学	8) 医療薬学・社会連携センター	

(兼任講座)

1) 天然医薬資源学	2) 分子創成化学	3) 衛生化学
4) 生化学	5) 代謝生理化学	6) 薬理学
7) 化学療法学	8) 創薬分析化学	9) 生命機能物理学

3. 出願資格

◆薬科学専攻 前期博士課程(修士課程)

一般	①大学を卒業した者，または2022年3月31日までに卒業見込みの者。 ②大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者，または2022年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者。 ③外国において，学校教育における16年以上の課程を修了した者，または2022年3月31日までに修了見込みの者。 ④文部科学大臣の指定した者。 ⑤大学に3年以上在学した者（またはこれに準ずる者）で，本学部が定める所定の単位を優れた成績をもって取得したものと認めた者。 ⑥外国の大学等において，修業年限が3年以上の課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者。 ⑦その他本研究科において，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた22歳以上の者。
留学生	前記③，⑥のいずれかを満たす者。

◆薬科学専攻 後期博士課程

一般	①修士の学位または専門職学位を有する者，または2022年3月31日までに取得見込みの者。 ②外国において，修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者，または2022年3月31日までに授与される見込みの者。 ③文部科学大臣の指定した者。 ④その他本研究科において，修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた24歳以上の者。 ※「同等以上の学力」については芝共立キャンパス学生課大学院入試担当までメールでお問い合わせください。
社会人	前記①～④のいずれかを満たし，出願時に大学，研究所，企業，病院に勤務し，所属長の推薦を受けた者。
留学生	前記②を満たす者。

◆薬学専攻 博士課程◆

一般	①大学（薬学，医学，歯学（6年制課程）または獣医学の課程）を卒業した者，または2022年3月31日までに卒業見込みの者。 ②修士の学位を有する者，または2022年3月31日までに取得見込みの者。 ③外国において，学校教育における18年の課程（薬学，医学，歯学または獣医学の課程）を修了した者，または修了見込みの者。 ④文部科学大臣の指定した者。 ⑤その他，本研究科において，前記①の学部卒業者と同等以上の学力があると認めた24歳以上の者。 ※「同等以上の学力」については，芝共立キャンパス学生課大学院入試担当までメールでお問い合わせください。
社会人	前記①～⑤のいずれかを満たし，出願時に病院，薬局，大学，研究所，企業に勤務し，所属長の推薦を受けた者。

4. 選考方法

◆薬科学専攻 前期博士課程(修士課程)

一般／留学生	学力試験，英語（TOEFL ITP），提出書類および面接
--------	------------------------------

◆薬科学専攻 後期博士課程

一般 社会人 留学生	①修士論文あるいは提出した学術論文の内容について口頭発表（15 分）および試問(10 分) ②学力試験（英語：TOEFL ITP） ③面接 ※2021 年度本研究科前期博士課程修了見込者で引き続き後期博士課程に進学を希望する者は，①は本研究科修士論文発表を以て替え，②，③は免除します。
------------------	---

◆薬学専攻 博士課程

一般／社会人	科学的な内容の小論文，英語（TOEFL ITP），面接
--------	-----------------------------

5. 試験日程および試験科目

試験会場は芝共立キャンパスです。試験教室および面接開始時間については当日掲示にて案内します。

《公共交通機関（バス，タクシーを除く）の乱れ・遅れによる遅刻の扱い》

試験会場周辺の公共交通機関に大幅な乱れ・遅れが生じ，試験当日，多くの受験生に影響があると本学が判断した場合，試験実施に支障をきたさない範囲で全体の試験開始時刻を繰り下げることがあります。ただし，このことに伴う受験生の個人的損害について本学は責任を負いません。試験当日に開始時間変更がある際は，下記ウェブサイトでお知らせします。

【慶應義塾大学薬学部・薬学研究科 大学院入学情報】

http://www.pha.keio.ac.jp/outline/admission/g_entrance.html

◆薬科学専攻 前期博士課程(修士課程)

試験日	試験時間	試験科目
一般／留学生 2022 年 1 月 15 日(土)	9:30～12:00（集合 9:10）	英語（TOEFL ITP） （集合時間に遅刻した場合は，受験できない場合があります。）
	13:00～15:00	専門科目 （有機化学系，物理・分析系，生命・生物系，薬学系の 4 系*から各 1 題出題される 4 題のうちから 2 題を選択解答する。） （留学生は英語で試験を受けることが可能です。希望者は出願時に選択解答する系を申し出てください。）
	専門科目終了後	面接 （留学生も含めて面接は日本語で行います。）
* 薬学系専門科目出題範囲：慶應義塾大学薬学部薬科学科 3 年春学期までの学習内容のうち，薬理，薬剤，衛生・法規領域。		

◆薬科学専攻 後期博士課程

試験日	試験時間	試験科目
一般／社会人／留学生 2022年1月15日(土)	9:30～12:00 (集合 9:10)	英語 (TOEFL ITP) (集合時間に遅刻した場合は、受験できない場合があります。)
	13:00～15:00	修士論文あるいは提出した学術論文の内容について口頭発表 (15 分) および試問 (10 分)
	口頭発表および試問終了後	面接

◆薬学専攻 博士課程

試験日	試験時間	試験科目
一般／社会人 2022年1月15日(土)	9:30～12:00 (集合 9:10)	英語 (TOEFL ITP) (集合時間に遅刻した場合は、受験できない場合があります。)
	13:00～14:00	小論文
	小論文終了後	面接

6. 出願手続きについて

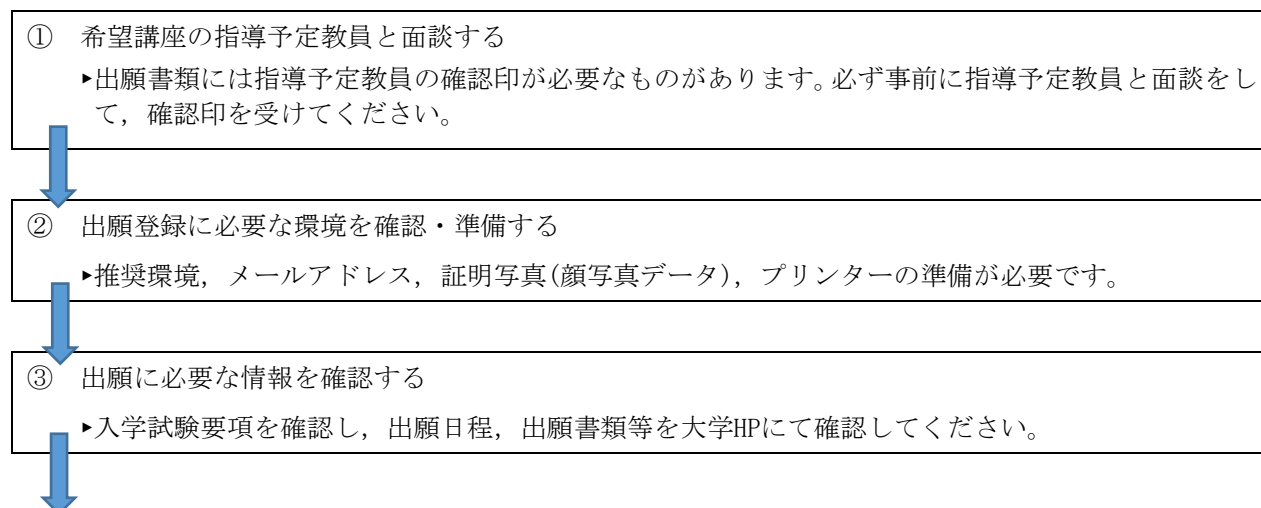
6-1. 出願登録 (インターネット)

指定の出願登録 (インターネット) 期間内に以下のサイトにアクセスのうえ、出願手続きを行ってください。

<http://www.guide.52school.com/guidance/net-keio-g/>

※出願登録 (インターネット) 後は、受験生本人が登録内容の変更をすることはできません。登録を完了する前に必ず内容をよく確認してください。万が一、誤った情報を登録してしまった場合は、入学検定料のお支払い前であれば、改めて初めから入力し直してください。支払い後の場合は、再登録をせず、学生課大学院入試担当までお問い合わせください。

●出願手続きの流れ



④ 出願内容・志願者情報を登録する（インターネット）

▶出願登録完了画面に表示される整理番号とセキュリティコードは必ずメモしてください。

⑤ 証明写真(顔写真)を登録する（インターネット）

▶「申込確認」ボタンから証明写真をアップロードしてください。

⑥ 入学検定料の支払い

▶クレジットカード（海外在住出願者のみ）、コンビニエンスストア、銀行ATM(ペイジー)、ネットバンキングで、期限までに入学検定料をお支払いください。入学検定料の他に支払手数料が必要です。

⑦ 出願書類を郵送する

▶出願書類を印刷し、「簡易書留・速達」で郵送してください。（国内に限り締切日消印有効）

大学から出願受理通知が届いたら

出願完了

▶受験票のダウンロード期間になりましたら、「申込確認」ボタンよりログインし、申込一覧から受験票が印刷可能となります。試験当日は、印刷した受験票を持参してください。

●出願登録注意事項●

- ①「**離籍(予定)年月日(卒業／修了(見込)年月日)**」(**必須入力欄**)は、「6-5.出願書類」の「9)卒業(見込)証明書・修了(見込)証明書」にて確認し、正しく登録してください。

【参考】※必ず証明書で確認してください。

▼慶應義塾大学在学学生・卒業生

入学月日 ⇒ 4月1日（4月入学）／9月22日（9月入学）

卒業(見込)月日 ⇒ **2011年3月以降の卒業(見込)は3月10日**

▼慶應義塾大学大学院在学学生・修了生

入学月日 ⇒ 4月1日（4月入学）／9月22日（9月入学）

修了(見込)月日 ⇒ 3月23日（3月修了）／9月21日（9月修了）

- ②「**希望講座の第二志望**」(**任意入力欄**)を選択入力した場合は、「出願理由書」（出願書類4）に第二志望講座の指導予定教員による署名捺印が必要です。
提出しない場合は、選択入力しないでください。

6-2. 出願期間（郵送）

日本国内投函に限り締切日消印有効、国外からの郵送出願の場合は締切日必着とします。

本学からの受験票の郵送はありません。期日までに受験票が『申込確認』の申込一覧に公開されない場合は学生課大学院入試担当までお問い合わせください。

◆薬科学専攻 前期博士課程(修士)(一般/留学生)

◆薬科学専攻 後期博士課程(一般/社会人/留学生)

◆薬学専攻 博士課程(一般/社会人)

出願期間（※日本国内投函に限り、締切日消印有効）		受験票公開
留学生	2021年11月19日(金)～11月25日(木) ※国外からの郵送出願は締切日 必着	2021年12月上旬
一般・社会人	2021年12月2日(木)～12月9日(木)	2021年12月下旬

6-3. 入学検定料 35,000 円（支払手数料が別途かかります）

※クレジットカード支払いは海外在住出願者のみ利用可能です。国内在住出願者は、「コンビニエンスストア」、「銀行ATM（ペイジー）」、「ネットバンキング」にて、期限までに入学検定料をお支払いください。
「検定料支払い方法のご案内」は、出願登録（インターネット）画面で閲覧可能です。

【入学検定料の返金】

一度納入した入学検定料は、次の a もしくは b の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- a. 入学検定料を納入したが、出願しなかった場合（出願書類を送付しなかった、受理されなかった等）
 - b. 入学検定料を誤って二重に納入した場合
- 上記 a もしくは b にあてはまる場合、下記の期間内に学生課大学院入試担当までご連絡ください。コンビニエンスストア店頭での返金は一切できません。

<入学検定料返還請求受付期間> 各出願期間最終日より 1 週間以内

※提出書類および入力内容に不備・誤りがある場合は受理できませんので、十分に注意してください。

※支払手数料は返金の対象になりませんので、予めご了承ください。

6-4. 出願書類の印刷と郵送

市販の封筒（角型2号サイズ）に出願書類全てを封入し、所定の【宛名ラベル】（※）を封筒の宛名面に貼付の上、「速達・簡易書留」で郵送してください。日本国外から発送する場合は、国際スピード郵便(EMS)、FedEx, DHL 等追跡のできるサービスで送付してください。出願の受付は郵送に限ります。いかなる理由があっても締切後は受理できません。締切には十分注意し、余裕をもって郵送してください。

●宛先（宛名ラベル表示）

〒105-8512 東京都港区芝公園1-5-30 慶應義塾大学芝共立キャンパス学生課 薬学研究科担当 宛

※【宛名ラベル】は、「出願登録（インターネット）」、「入学検定料の支払い」が済んだ後、『申込確認』の画面にログインし、A4白色の用紙で印刷してください。

6-5. 出願書類

出願の前に必ず事前に希望講座の指導予定教員と面談をして研究内容を熟知し、出願理由書に指導予定教員の確認印を受けてください。第二志望がある場合も同様にしてください。

(1) 出願書類の一部（所定用紙および所定様式）は、下記サイトからダウンロードしてください。

【慶應義塾大学薬学部・薬学研究科 大学院入学情報】

http://www.pha.keio.ac.jp/outline/admission/g_entrance.html

(2) 一度提出された書類、論文等は、いかなる理由があっても返還および変更はできません。ただし、再発行が不可能な書類は返却します。返却を希望する場合は、返還希望理由を明記したメモおよび簡易書留分の切手を貼付し宛名を明記した返信用封筒を同封してください。書類の返還には1～2ヶ月程度かかります。

(3) 記載事項が事実と異なる場合や、その他不正がある場合は、受験資格および入学資格が取り消されることがあります。

(4) 書類はすべて日本語または英語で作成し、A4 用紙（またはそれに準ずるサイズ）で片面印刷（両面不可）してください（論文は両面印刷可）。

書類名	一般 留学生	一般 社会人	一般／社会人 留学生
	修士	博士	後期博士
1) 入学志願者調書 出願登録（インターネット）の「申込確認」にログイン後、申込一覧画面から【入学志願者調書】をダウンロードし、A4用紙で印刷してください。	○	○	○
2) 成績証明書（学部・大学院のもの全て） 出身大学において 作成厳封 したもの。本学薬学部卒業（見込）者および薬学研究科修了（見込）者は 厳封の必要はありません 。	○	○	○
3) 就業先所属長の推薦書（様式自由）	×	○※社会人のみ	
4) 出願理由書（所定用紙） 指導予定教員の確認印が必要です。必ず指導予定教員と面談をして、確認印を受けてください。	○	○	○
5) 修士論文およびその要旨（要旨は所定様式） 修士論文のない場合は、学術論文およびその要旨（本研究科前期博士課程修了者も提出してください。）	×	×	○
6) 卒業（見込）証明書・修了（見込）証明書 （学部・大学院のもの全て）	○	○	○
7) Financial Statement（所定用紙） 外国政府の留学生および国費留学生については、それらに関する証明書も添付してください。なお、各種団体からの援助を受ける留学生についてはそれに関する証明書も提出してください。	外国人出願者のみ		
8) パスポートの写し 氏名、国籍、生年月日、パスポート番号、パスポート発行年月日が記載されたページをコピーして提出してください。	外国人出願者のみ		
9) 在留カードまたは外国人登録証明書の写し （出願時点で日本在留資格を持つ者のみ必要） 両面をコピーして提出してください。	外国人出願者のみ		

※上記の他、必要に応じて書類の提出を求めることがあります。

6-6. 受験票発行のお知らせと印刷

出願登録（インターネット）により登録した内容と、本学に届いた出願書類の内容が確認され、出願が受理されると、その旨をメールでお知らせすると同時に受験票PDFの印刷が可能になります。受験票PDFを白色のA4用紙縦向きで印刷してください。本学からの受験票送付はありません。

受験票を印刷したら、氏名、受験研究科、その他記載内容が出願した内容と相違ないか確認してください。万一記載に誤りがある場合には、芝共立学生課大学院入試担当に連絡してください。

また、試験当日には、受験票を折り線部分で折ったうえで必ず持参してください。

7. 合格発表

合格結果はオンライン合格発表にて行います。合格発表日時は、本紙3ページの「2022年度 薬学研究科入試日程（第二次募集）」で確認してください。結果についての問い合わせには一切応じることができません。

8. 入学手続

8-1. 入学手続の案内

詳細は入学手続画面に掲載する「入学手続要項」をご確認ください。2022年4月入学者は、2022年2月上旬より入学手続画面へログインが可能です。

入学手続画面：<http://www.guide.52school.com/guidance/enrollment-keio-g/>

8-2. 手続期間・方法

入学手続は、次の3つの手続を済ませることにより完了します。指定の手続期間内に入学手続に必要な手続を部分的にしか行っていない場合、もしくは全く行っていない場合は、いかなる事情があったとしても、既に入学意思を放棄したものとして入学手続は認められず、入学の資格を失うことになります、締切日には十分に注意してください。

- ・入学に必要な費用の振込み
- ・必要事項の入力
- ・手続書類の提出（郵送）

入学手続期間 ※日本国内投函に限り、締切日消印有効

【2022年4月入学】2022年3月1日（火）～7日（月）

8-3. 必要書類

- ① 授業料等振込受付証明書(B) (所定用紙)
- ② 住民票記載事項証明書 (所定用紙) もしくは住民票 (本人のもののみ)
- ③ 卒業(修了)証明書 (卒業見込または修了見込で受験した者のみ)
- ④ 退学証明書・成績証明書 (本学大学院薬学研究科薬科学専攻前期博士課程 (修士課程) 飛び入学制度利用者のみ)
- ⑤ パスポート、在留カードのコピー (外国籍の方のみ)

9. 入学に必要な費用

2022 年度入学者の学費は未定ですが、2021 年度の費用は以下のとおりです。

種別	薬学研究科	修士課程	後期博士課程 博士課程
在籍基本料		60,000 円	60,000 円
授業料		990,000 円	660,000 円
学生健康保険互助組合加入費 および組合費		2,600 円	2,600 円
合計		1,052,600 円	722,600 円
(分納の場合の春学期分)		(526,350 円)	(361,350 円)
(分納の場合の秋学期分)		(526,250 円)	(361,250 円)

注：

- ・在籍基本料ならびに授業料については、在学中学則に定めるスライド制を適用し毎年定められた額を納入することになりますので、あらかじめご承知ください。なお、適用するアップ率はスライド率（前年度人事院勧告による国家公務員給与のアップ率等）を基準といたします。
- ・学生健康保険互助組合加入費（100 円）は初年度のみ徴収します。在学生納付金合計には含まれていません。
- ・学費およびその他の費用は、年 2 回（春学期：4 月末／秋学期：10 月末）に分けて納入することができます。
- ・本大学が委託されて徴収するその他の費用は、在学中必要に応じて改定されることがあります。

10. 注意事項

- （1）推薦入試，一般入試，留学生入試ともに必ず事前に希望する大学院指導教員と面談して，研究内容などについて熟知の上で出願してください。第二志望がある場合も必ず事前に面談を行ってください。
なお，出願理由書に指導予定教員の確認印を受けてください。確認印のない場合は，受け付けられません。第二志望の場合も同様です。
- （2）一度提出された書類は返却しません。
- （3）受験票は，試験会場内では常に携行し，入学手続の際まで保管してください。
- （4）試験場内では，試験監督者の指示に従ってください。
- （5）納入された費用は原則として返還しません。ただし，所定の期日までに入学辞退の手続を完了した場合に限り返還します。具体的な日程に関しては，入学手続要項に記載します。
- （6）出願書類および出願資格審査に関わる書類に虚偽の記載があった場合，選考中に不正行為があった場合は，理由の如何を問わず次のとおり対応します。
 - ①合格発表前に発覚した場合
出願資格を認めず，入学検定料も返還しません。
 - ②合格発表後に発覚した場合
合格・入学の資格を取り消し，入学検定料も返還しません。ただし，「入学に必要な費用」を支払済の場合は，「入学に必要な費用」を返還します。
 - ③入学後に発覚した場合
入学の資格を取り消し，入学検定料も「入学に必要な費用」も返還しません。
- （7）出願に関する問い合わせは，芝共立キャンパス学生課大学院入試担当で受け付けます。

〒105-8512 東京都港区芝公園 1 丁目 5 番 30 号

慶應義塾大学芝共立キャンパス学生課 大学院入試担当

電話 03-5400-2498

窓口取扱時間：平日 8:45～16:45（除：11:20～12:20）

1 1. 学校債・寄付金について（慶應義塾 基金室）

慶應義塾債（学校債）・慶應義塾教育振興資金（寄付金）について

- ・慶應義塾債 一口 10万円 （できましたら三口以上のご協力をお願いいたします。）
大学院修了時または慶應義塾離籍時に償還いたします。

- ・慶應義塾教育振興資金 年額 一口 3万円
（できましたら二口以上のご協力をお願いいたします。）

いずれも任意のものではありますが、教育充実のために使われるもので、多くの方々にご協力をいただいております。詳細につきましては、入学後に募集のご案内をお送りいたします。

薬学研究科の主な研究分野

薬科学専攻 前期博士課程(修士課程)

	講座名	担当教員	研 究 分 野
1	有機薬化学	教授 須 貝 威 准教授 東 林 修 平 専任講師 花 屋 賢 悟	化学－酵素変換を相乗的に活用する医薬品合成 生物活性有機化合物の新規合成法の開発 タンパク質の化学修飾法の開発とその応用
2	天然医薬資源学	教授 菊 地 晴 久	新規創薬資源の開拓
3	分子創成化学	教授 熊 谷 直 哉 准教授 大 江 知 之	機能性分子のデザイン・合成 医薬品・環境物質の新規代謝物の検索および代謝的活性化機構に関する研究
4	衛生化学	教授 多 胡 め ぐ み 専任講師 中 澤 洋 介	炎症性および造血系サイトカインのシグナル伝達経路の解析 水晶体関連疾患の病態解明と予防に関する研究
5	生化学	教授 長 谷 耕 二 准教授 木 村 俊 介	粘膜免疫系と上皮バリアの統合的解析 粘膜上皮による免疫監視システムの研究
6	代謝生理化学	教授 有 田 誠	機能性脂質による炎症・代謝性疾患の制御に関する研究
7	薬理学	教授 三 澤 日 出 巳	脳の病態と高次機能に関する分子神経生物学
8	化学療法学	教授 杉 本 芳 一	がん分子標的治療薬の開発とその作用機構・バイオマーカーに関する研究
9	創薬分析化学	教授 花 岡 健 二 郎 准教授 長 瀬 健 一	生体内可視化/創薬のための生体機能分子の創製 機能性高分子・バイオマテリアルの設計と分離システムおよび再生医療への応用
10	生命機能物理学	教授 大 澤 匡 範	生命現象を担うタンパク質の機能発現メカニズムの原子レベルでの解明
11	薬剤学	教授 登 美 斉 俊 准教授 西 村 友 宏	組織関門透過制御機構の解明と予防・個別化医療への応用 胎児成長を司る胎盤関門機能
12	病態生理学	教授 服 部 豊 准教授 松 下 麻 衣 子	がんの新しい診断・治療法開発をめざしたトランスレーショナルリサーチ がんに対する新規免疫治療法に関する研究
13	薬物治療学	教授 齋 藤 義 正 准教授 松 崎 潤 太 郎	がん幹細胞におけるエピゲノムとマイクロRNA異常の解析と薬物治療への応用 細胞外RNAの動態理解と臨床応用
14	臨床薬物動態学	教授 大 谷 壽 一 専任講師 秋 好 健 志	医薬品の適正使用および育薬のための基礎研究, 臨床研究及び情報科学 薬物体内動態の変動要因に関する研究
15	医薬品情報学	教授 堀 里 子 准教授 橋 口 正 行	医薬品市販後情報の収集, 評価・解析, 提供に関する方法論の開発と実践 医薬品情報の創製と臨床評価に関する研究
16	薬効解析学	教授 松 元 一 明 准教授 田 口 和 明	医薬品の薬効評価と副作用解析に基づいた至適投与方法に関する研究 ナノ科学を基盤とした革新的デリバリーシステムの構築と医薬への展開
17	医薬品開発規制科学	教授 漆 原 尚 巳 准教授 原 梓	医薬品開発規制薬事、薬剤疫学、又は医薬品安全性評価に関する疫学的手法を用いた研究 循環器疾患等に関する疫学、薬剤疫学研究
18	病院薬学	教授 三 澤 日 出 巳 准教授 青 森 達	(研究科委員長、兼任) 個別化薬物治療の確立のための臨床薬理学的研究および疫学的研究

薬学研究科の主な研究分野

薬科学専攻 後期博士課程

	講座名	担当教員	研 究 分 野
1	有機薬化学	教授 須 貝 威 准教授 東 林 修 平 専任講師 花 屋 賢 悟	化学－酵素変換を相乗的に活用する医薬品合成 生物活性有機化合物の新規合成法の開発 タンパク質の化学修飾法の開発とその応用
2	天然医薬資源学	教授 菊 地 晴 久	新規創薬資源の開拓
3	分子創成化学	教授 熊 谷 直 哉 准教授 大 江 知 之	機能性分子のデザイン・合成 医薬品・環境物質の新規代謝物の検索および代謝的活性化機構に関する研究
4	衛生化学	教授 多 胡 め ぐ み 専任講師 中 澤 洋 介	炎症性および造血系サイトカインのシグナル伝達経路の解析 水晶体関連疾患の病態解明と予防に関する研究
5	生化学	教授 長 谷 耕 二 准教授 木 村 俊 介	粘膜免疫系と上皮バリアの統合的解析 粘膜上皮による免疫監視システムの研究
6	代謝生理化学	教授 有 田 誠	機能性脂質による炎症・代謝性疾患の制御に関する研究
7	薬理学	教授 三 澤 日 出 巳	脳の病態と高次機能に関する分子神経生物学
8	化学療法学	教授 杉 本 芳 一	がん分子標的治療薬の開発とその作用機構・バイオマーカーに関する研究
9	創薬分析化学	教授 花 岡 健 二 郎 准教授 長 瀬 健 一	生体内可視化/創薬のための生体機能分子の創製 機能性高分子・バイオマテリアルの設計と分離システムおよび再生医療への応用
10	生命機能物理学	教授 大 澤 匡 範	生命現象を担うタンパク質の機能発現メカニズムの原子レベルでの解明

(兼任講座)

1	薬剤学	教授 登 美 斉 俊 准教授 西 村 友 宏	組織関門透過制御機構の解明と予防・個別化医療への応用 胎児成長を司る胎盤関門機能
2	病態生理学	教授 服 部 豊 准教授 松 下 麻 衣 子	がんの新しい診断・治療法開発をめざしたトランスレーショナルリサーチ がんに対する新規免疫治療法に関する研究
3	薬物治療学	教授 齋 藤 義 正 准教授 松 崎 潤 太 郎	がん幹細胞におけるエピゲノムとマイクロRNA異常の解析と薬物治療への応用 細胞外RNAの動態理解と臨床応用
4	臨床薬物動態学	教授 大 谷 壽 一 専任講師 秋 好 健 志	医薬品の適正使用および育薬のための基礎研究, 臨床研究及び情報科学 薬物体内動態の変動要因に関する研究
5	医薬品情報学	教授 堀 里 子 准教授 橋 口 正 行	医薬品市販後情報の収集, 評価・解析, 提供に関する方法論の開発と実践 医薬品情報の創製と臨床評価に関する研究
6	薬効解析学	教授 松 元 一 明 准教授 田 口 和 明	医薬品の薬効評価と副作用解析に基づいた至適投与方法に関する研究 ナノ科学を基盤とした革新的デリバリーシステムの構築と医薬への展開
7	医薬品開発規制科学	教授 漆 原 尚 巳 准教授 原 梓	医薬品開発規制薬事、薬剤疫学、又は医薬品安全性評価に関する疫学的手法を用いた研究 循環器疾患等に関する疫学、薬剤疫学研究
8	病院薬学	教授 三 澤 日 出 巳 准教授 青 森 達	(研究科委員長、兼任) 個別化薬物治療の確立のための臨床薬理学的研究および疫学的研究

薬学研究科の主な研究分野

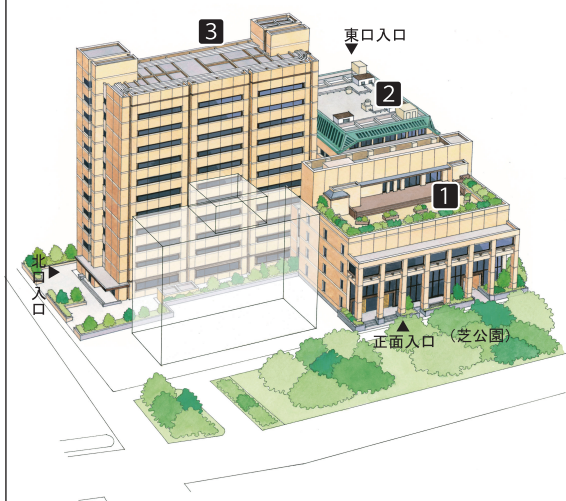
薬学専攻 博士課程

	講座・センター名	担当教員	研 究 分 野
1	薬剤学	教授 登 美 斉 俊 准教授 西 村 友 宏	組織関門透過制御機構の解明と予防・個別化医療への応用 胎児成長を司る胎盤関門機能
2	病態生理学	教授 服 部 豊 准教授 松 下 麻 衣 子	がんの新しい診断・治療法開発をめざしたトランスレーショナルリサーチ がんに対する新規免疫治療法に関する研究
3	薬物治療学	教授 齋 藤 義 正 准教授 松 崎 潤 太 郎	がん幹細胞におけるエピゲノムとマイクロRNA異常の解析と薬物治療への応用 細胞外RNAの動態理解と臨床応用
4	臨床薬物動態学	教授 大 谷 壽 一 専任講師 秋 好 健 志	医薬品の適正使用および育薬のための基礎研究, 臨床研究及び情報科学 薬物体内動態の変動要因に関する研究
5	医薬品情報学	教授 堀 里 子 准教授 橋 口 正 行	医薬品市販後情報の収集, 評価・解析, 提供に関する方法論の開発と実践 医薬品情報の創製と臨床評価に関する研究
6	薬効解析学	教授 松 元 一 明 准教授 田 口 和 明	医薬品の薬効評価と副作用解析に基づいた至適投与方法に関する研究 ナノ科学を基盤とした革新的デリバリーシステムの構築と医薬への展開
7	医薬品開発規制科学	教授 漆 原 尚 已 准教授 原 梓	医薬品開発規制薬事、薬剤疫学、又は医薬品安全性評価に関する疫学的手法を用いた研究 循環器疾患等に関する疫学、薬剤疫学研究
8	病院薬学	教授 三 澤 日 出 已 准教授 青 森 達	(研究科委員長、兼任) 個別化薬物治療の確立のための臨床薬理学的研究および疫学的研究
9	医療薬学・社会連携センター 医療薬学部門	教授 中 村 智 徳 教授 鈴 木 小 夜	医療薬学教育の質向上を志向した教育手法・教育アイテムの開発研究 実臨床における問題解決に向けた個別化薬物治療法の開発 東西医薬品併用の適正性に関する評価研究
	社会薬学部門	教授 山 浦 克 典	医薬品の適正使用・セルフメディケーション推進における薬局・薬剤師業務の有用性に関する評価研究

(兼担講座)

1	有機薬化学	教授 須 貝 威 准教授 東 林 修 平 専任講師 花 屋 賢 悟	化学-酵素変換を相乗的に活用する医薬品合成 生物活性有機化合物の新規合成法の開発 タンパク質の化学修飾法の開発とその応用
2	天然医薬資源学	教授 菊 地 晴 久	新規創薬資源の開拓
3	分子創成化学	教授 熊 谷 直 哉 准教授 大 江 知 之	機能性分子のデザイン・合成 医薬品・環境物質の新規代謝物の検索および代謝的活性化機構に関する研究
4	衛生化学	教授 多 胡 め ぐ み 専任講師 中 澤 洋 介	炎症性および造血系サイトカインのシグナル伝達経路の解析 水晶体関連疾患の病態解明と予防に関する研究
5	生化学	教授 長 谷 耕 二 准教授 木 村 俊 介	粘膜免疫系と上皮バリアの統合的解析 粘膜上皮による免疫監視システムの研究
6	代謝生理化学	教授 有 田 誠	機能性脂質による炎症・代謝性疾患の制御に関する研究
7	薬理学	教授 三 澤 日 出 已	脳の病態と高次機能に関する分子神経生物学
8	化学療法学	教授 杉 本 芳 一	がん分子標的治療薬の開発とその作用機構・バイオマーカーに関する研究
9	創薬分析化学	教授 花 岡 健 二 郎 准教授 長 瀬 健 一	生体内可視化/創薬のための生体機能分子の創製 機能性高分子・バイオマテリアルの設計と分離システムおよび再生医療への応用
10	生命機能物理学	教授 大 澤 匡 範	生命現象を担うタンパク質の機能発現メカニズムの原子レベルでの解明

慶應義塾大学 芝共立キャンパス



1 1号館(学生厚生棟)

- 5 F 談話室、和室、屋上庭園、薬用植物園
- 4 F 芝共立インフォメーションテクノロジーセンター
- 3 F 体育館(多目的ホール)
- 2 F 学生ホール(食堂)、生協購買部
- 1 F 事務室(学生課)
- B 1 F 中講堂
創業研究センター・ラボラトリー

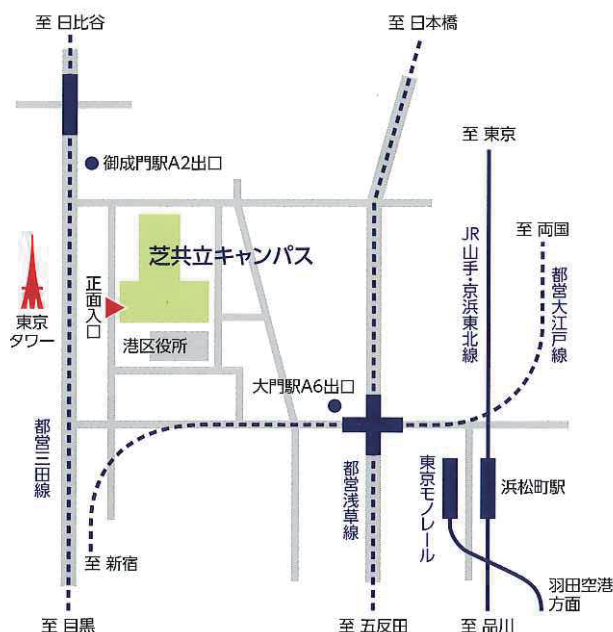
2 2号館(教育棟)

- 4 F 記念講堂(大講堂)
創業研究センター・ラボラトリー
- 2~3 F 講義室、実習室、非常勤講師室
- 1 F 講義室、実習室、薬学教育研究センター
学生相談室、保健管理センター
- B 1 F 講義室、実習室、医療薬学実習室
- B 2 F 実験動物飼育室

3 3号館(研究棟)

- 11 F 会議室(セミナー室)
- 10 F 講座研究室、RI 実験施設
- 5~9 F 講座研究室、実験室
- 4 F 講座研究室、研究交流オフィス
0405PC室
薬学メディアセンター(図書館書庫)
- 3 F 薬学メディアセンター(図書館)
- 2 F 学部長室、講座研究室
事務室(総務課・管財課・学術研究支援課)
- 1F 受付・中央管理室
医療薬学・社会連携センター、附属薬局
- B1F 共同実験室

ACCESS



■住所・電話番号

〒105-8512 東京都港区芝公園 1-5-30
TEL 03-3434-6241 (代表)
03-5400-2498 (学生課：大学院入試担当)

■交通アクセス

JR 山手線・京浜東北線「浜松町」駅下車 (徒歩 10 分)
東京モノレール線「浜松町」駅下車 (徒歩 10 分)
都営地下鉄三田線「御成門」駅下車 (徒歩 2 分)
都営地下鉄浅草線・大江戸線「大門」駅下車 (徒歩 6 分)
※東京～浜松町：約 6 分 上野～浜松町：約 15 分
渋谷～浜松町：約 17 分 水道橋～御成門：約 12 分

慶應義塾大学大学院

薬学研究科

〒105-8512 東京都港区芝公園 1-5-30

電話： 03-3434-6241（代表）

03-5400-2498（学生課 大学院入試担当）

E-mail : skcdaigakuin@info.keio.ac.jp